

1、本園の教育目標

- ・より強く・・健やかな身体を育む。
- ・より明るく・・豊かな感性と安定した情緒を培う。
- ・よりなかよく・・社会性を身に付ける。

2、本年度の重点目標

新型コロナウイルスによる感染流行において失われた子どもの心身の健康を取り戻し、正常な成長発達を獲得するため、幼稚園教育要領を踏まえた質の高い幼児教育を実践する。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取り組み状況
感染予防計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の指導、練馬区の指導に順守する。</li> <li>・日本小児科学会および日本小児学会の見解を参考にする。</li> <li>・ウイルスを持ち込まない措置を徹底する。</li> </ul>
保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五感を使った保育活動を主とし、主体的な遊びをより深く広げられるように、保育者は目の前のこどもの姿から保育計画を立て、その時に合わせて環境を整え、保育を進めることができた。</li> <li>・ポートフォリオを用いて、客観的に子どもの活動を分析し、保育者間で意見交換を行い、次の保育へとつなげていった。</li> <li>・週に一回の職員会議の中で、クラスのこどもの様子の情報共有を図り、職員が一丸となり保育に当たれるようにし、保育の質の向上を図った。</li> </ul>
特別支援教育への理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援が必要な園児を見逃さず、保護者と連携をはかり、積極的に情報交換をして、より合理的に子の利益につながる保育を提供する様に務めた。</li> <li>・公的訪問支援を利用して、専門家の見解、アドバイスを受け、質問などしながら障害に対する理解を深め、保育支援につなげている。</li> <li>・必要に応じて職員の加配を行い、安心安全に務めた。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内外の研修を行い、人間性と保育の専門性を向上させる。</li> </ul> 牧場研修（吉川牧場）、野外活動研修（ウレシパモシリ） 幼造研の夏の研究大会に参加。
森の保育 ポニーとの活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児を中心としたポニーとの活動、4月の牧場遠足でポニーの生活について知り、月に一回の活動の中で、五感を使って関わりを深めた。1月には石神井公園で乗馬体験を行い、ポニーとの距離がぐっと縮まった。3月には最後のポニー牧場遠足に活動の集大成として訪れ、放牧の様子を見る。初めは恐がって関われなかった子も、相手を知ることですこずつ距離を縮めることができた。</li> </ul>
パンマンとジャンベで遊ぼう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月に一回、楽器奏者PANMAN氏指導の下、アフリカの打楽器ジャンベを叩く活動を各学年で継続して行った。言葉によるコミュニケーションではなく、叩くことで響きあい、コミュニケーションをとる活動を繰り返すことで、聞く姿勢の向上、力を自分たちでコントロールする様子、他者と音を合わせることを楽しむ姿などが見られた。他国の文化に興味を持つ一面もあり、ジャンベの活動をきっかけに他の活動に繋がることもあった。</li> </ul>

性教育の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助産師の柴亜希子氏に協力をいただき、新入園児保護者向けの「おうち性教育」の講演会、年長児にむけて「いのちのお話」を行った。また、保育室には各年齢に合わせた性教育の絵本を置き、子どもたちが自然と手に取れるようにしている。年中からは着替えの際に男女分かれるようにパーテーションを使用したり、部屋を分けるなど、配慮をした。自分の体を大切にする、プライベートパーツは見せない事を園全体で共有し、子ども自身がその意識を高められるように心がけた。</li> </ul>
2歳児対象「たねのつどい」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2歳児の親子を対象とした月一回の集まり「たねのつどい」では初めて幼稚園を知る方々に各回集まっていたいただき、清心幼稚園の保育を知ってもらうきっかけとなった。また、気候の良い季節には石神井公園での森の幼稚園を実践し、保護者の方に自然活動を知っていただく良い機会となった。</li> </ul>

#### 4、総合的な評価結果

- ・こども主体の保育や当園の特別な活動に魅力を感じ、園に興味を持っていただくことが増えている実感があり、遠方からの登園を検討して下さる方もいる。また、2歳児のたねのつどいの参加者からの入園も多く、例年に比べて清心幼稚園の保育を広く知っていただけた。また、実践している「こども主体の保育」が評価され、多方面から取材依頼を受けるようになっている。

- ・日々の主体的な保育に加え、ポニー、ジャンベ、森の幼稚園の活動を行い、より子どもたちの興味関心が広がり、活動が深まっていく様子が見られた。子ども主体の中で、保育者が提案し活動を深めていく数少ない機会であるが、専門家に携わっていただくことで、保育者とは違う目線で見て頂き、質の良い保育に繋がっている実感がある。

#### 5、今後取り組む課題

練馬こども園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度より、長時間の預かり保育を行う、練馬こども園を開設する。長時間の保育が子どもにとって良いものとなるよう、職員間で情報共有を計りながら実践していく。</li> <li>・また、新しい取り組みの為、勤務時間等職員の負担にならないように職員間で話し合いをし意見を取り入れ進めていく。</li> </ul>
発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの掲載を充実させて、目に留まりやすい工夫をし、様々な情報の発信をし、更新をこまめに行う。</li> <li>・幼稚園ブログの更新を各学年毎月行うようにし、クラスだよりでは伝えきれない園の様子を保護者に伝わるように心がける。</li> </ul>
満3歳児クラス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度より、新たに満3歳児保育ちゅうりっぷ組を始める。入園時期が異なるので、一人ひとりにあった保育時間設定など、保護者と連携を取りながら丁寧に進めていく。</li> </ul>
2歳児親子の集まり、たねのつどい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年好評だった「たねのつどい」を6年度から週一回のプレ保育として行う。親子で清心幼稚園の保育を体験してもらい園児募集につなげていきたい。</li> </ul>

#### 6、学校関係者評価委員の評価

- ・令和5年度は会議ではなく文章で行う。
- ・各委員に参考文章をお送りし、意見がある場合は回答していただくようお願いしたが、期限内に意見はでなかったため、概ね保育内容を評価していただけたものと判断するに至る。

令和5年度 高橋京子先生 研修記録

日時	学年	行事	内容	成果・反省
4月3日 4月4日	職員	職員 2023 春スタート研修	○職員をベテランチーム、ビギナーチームの2グループに分け石神井公園で活動する ・多様な視点で自然を見る 鳥・樹木 ・自然素材ノート作り ・職員間でのなんでも会議等	・大人が本気になって自然と向き合い、様々な疑問や自然の神秘を知る事が出来た。職員同士自分自然の力を借りて、自己表現しあえたことが、今後のより良い職員間のチームワークに繋がると感じた。
4月21日	年中	春の遠足下見 場所：稲荷山公園	○遠足の活動範囲の下見 ・活動ルート設定 ・必要な持ち物や流れの確認	・危険個所を把握し、把握し、活動場所を決めることができた。
4月25日	年中	春の遠足 場所：稲荷山公園	○好きなもの図鑑 ・親子で公園内を散策して様々な自然物を集め、好きなもの図鑑を作成する。 ○親子で別れて活動 ・子どもは主体的活動、保護者は自然物のペンダント作り	・時間配分の連携を細やかに取ることが難しかったため、タイムキーパーが必要だったと感じた。 ・活動を通して好きなことを大切に過ごしたいという一年の良いスタートとなった。
5月11日	年少	春の親子遠足下見	○史跡公園親子遠足の下見 ・活動範囲の設定 ・公園内自然物の状態確認 ・危険個所の確認	・春にしか見ることのできない多様な自然物を見つける事ができた。
5月16日	年少	春の親子遠足 場所：史跡公園	○森のお友だち探し ・五感を使って自然と触れ合い春を感じる。自然を通して親子で触れ合い、心を開放する。 ○親子で春の史跡公園に隠れている様々な自然物をお友だちブック、双眼鏡を使って見つける。見つけたものをボードに貼り共有する。 ○森の色あそび屋さん、森のケーキ屋さん、森の何でも屋さんに分かれ好きなお店で活動した。	・年少組は親子遠足が初めての野外保育の活動であったため、遠足の活動時間の早い段階で疲れ、空腹、眠気などを見せる姿が多く見られた。子どもたちの様子に合わせて臨機応変に予定を早めるなど状況に応じた対応をする必要があると感じた。
6月20日	年長	べちゃばしゃ フェスティバル 場所：清心幼稚園 園庭	○水運びリレー ○水と泥を使った活動 ・左官コーナー・どろんこコーナー ・水流しコーナー・生け花コーナー	・普段の活動の延長のような形式で特別感をもって活動することができた。

			○水かけ合戦	
9月21日	年中	秋の遠足下見	○遠足の活動範囲の下見 ・活動ルート設定 ・必要な持ち物や流れの確認	・危険個所を把握し、活動場所を決めた。
10月3日	年中	秋の遠足 場所：稲荷山公園	○秋のお宝ビンゴ ・親子で公園内を散策し、お題にあった自然物を見つける。 ・秋の種を集める。 ○親子で別れて活動 ・子どもは主体的活動、保護者は子どもに葉っぱの手紙作り。	・事前に注意すべきところに印をつけた地図を配布するとよかった。 ・穏やかな雰囲気の中で楽しみながら活動することができた。
10月11日	年長	秋の活動下見	○危険箇所の確認 ○活動ルート設定 ○環境設定の吟味 ○流れの確認	・午後の活動をより主体的なものへと変更
10月24日	年長	秋の活動 場所：記念庭園	○マップを作ろう チームごとに見つけたものを白地図に貼り付けていく ○研究所コーナー 見つけたものを使って好きなように研究しよう	・目印のため木に付けたリボンが目立ちすぎてしまった。 ・子どもたちの研究という活動が自由度の高いものでよかった。
11月8日	年少	秋の親子遠足下見	○史跡公園秋の親子遠足の下見 ・活動範囲の設定 ・公園内自然物の状態確認 ・危険個所の確認	・秋ならではの多様な自然物を見つける事ができた。
11月14日	年少	秋の親子遠足 場所：史跡公園	○森のお友だち探し “秋” ○春とは違う秋の自然の変化を感じ、五感を使って秋の自然を楽しむ。 自然を通して親子で触れ合い心を開放させる。 ○親子で秋の史跡公園に隠れている様々な自然物をお友だち探しブック、カメラ、を使ってを見つける。 見つけたものをボードに貼り、キラキラボトルに入れて共有。 ○ころころ楽器屋さん、森のレストラン、わくわく屋さん、ゆったりスペース、落ち葉プールのコーナーを設定し好きな場所で活動した。	・春の遠足や、日ごろの野外保育、自然物を常に保育室に用意することで繰り返されている作る活動など、様々な経験を複合的に積み重ねていることで、遠足で見つける目、作り出す力、やってみる強い意思などを最大限に引き出すことができた。 ・遠足の手紙の開始時間を間違えて記載し、メールを送り訂正した。配布物など事前の確認事項は抜かりないように行っていきたい。

令和5年度 ポニー屋吉川純也氏 ポニーとの活動

日付	対象	内容	反省
4/24	年長組遠足 ・吉川牧場	馬房見学、草取り、草あげ、ブラッシング	・子どもたちが興味深く、ポニーや馬を観察しており、匂いや音など五感で感じていた。 ・帰りの時間が少し押してしまったため、時間配分の声掛けを職員同士でしあい、吉川さんと連携を取っていく必要がある。
5/24	全学年 ・幼稚園	触れ合い、草あげ、引綱	・全学年での初めての触れ合いになるため、ポニーが到着したタイミングで、職員同士声を掛け合い、活動の準備ができるようにする。
5/26	全学年	触れ合い、草あげ、引綱 活動場所 以下：石神井公園	・草あげ用の干し草を入れる箱を各クラス用意しておく子どもたちに配りやすい。
6/13	年長	触れ合い、草上げ、引綱	・気温が高いため、予備の飲み物を多めに用意する必要がある。
6/16	年長	触れ合い、草上げ、引綱	・子どもたちが集中して活動に取り組めるよう話す場所を考えて行う。
10/13	年長	触れ合い、草上げ、引綱 (公園1周)	・ポニーが後ろを歩いていたので、ほかの子が引綱をしている様子を見られなかった。次回は、ポニーが先に歩き、あとから子どもたちの列が続くようにしていきたい。
10/20	年長	触れ合い、草上げ、引綱	・前回の反省を生かすことができた。
11/21	年長	触れ合い、草上げ、足上げ、 ブラッシング	・予定していた場所で、違う団体が活動をしていたため、急遽場所を変更した。事前に使う団体の有無を確認するとともに、場所の候補をいくつか考えておく必要がある。
11/24	年長	触れ合い、草上げ、足上げ、 ブラッシング	・子どもたちが考える場面が多い活動であった。話を聞いたり意見を話したりしているうちに段々とポニーと距離が近くなりすぎてしまう場面があるため、適宜声掛けをしていく必要がある。
1/19	年長	触れ合い、乗馬	・乗馬と引綱の子どもたちの交代がスムーズにできないことがあったため、水筒やヘルメットの着脱がスムーズにできるよう保育者同士連携をとる必要がある。
1/23	年長	触れ合い、乗馬	・公園についてから、活動が始まるまでの時間が長くなってしまった。風が強くなったため、もう少し防寒が必要であった。
1/26	年長	触れ合い、乗馬	前回の反省を生かして防寒をしっかりと行った。子どもたちの人数も11人と少なかった為、集中し活動に取り組むことができていた。
1/30	年長	触れ合い、乗馬	人数が10人程度で少なかった為、じっくりと活動を深めることができた。 最後の草上げをした際、ポニーがいる場所と、笹がある場所が少し離れており、道を横切る必要があったため、保育者同士声をかけ合いながら、安全に配慮した。 道を横切らない位置で活動ができるようにしていきたい。
2/26	年長 卒園遠足 ・吉川牧場	馬房見学、草あげ 馬房掃除(ボロ拾い) ブラッシング	最後の締めくくりの活動として、ポニーと心を通わせながら一つ一つの活動を楽しんでいる様子が見られた。初めての馬房掃除でも行っているうちに慣れてきて、躊躇なくボロを集め、ポニーの部屋の掃除を理解しながら行っていた。 風が強く吹いており、お弁当を食べる場所の相談をその場で行い子どもたちを待たせる時間が少しだけできてしまったので、予め様々な天候の状態を想定しておきたい。
3/25	職員研修 ・牧場	馬房掃除、ポニーの誘導、放牧など	職員同士でコミュニケーションを多くとりながら、活動を進める事が出来た。手のかかるポニーもいる中で、本気になって挑んだ。子どもたちがどんな気持ちでポニーと接しているのか、実体験を通して多く学び、来年度のポニーとの活動への関わり方についても多くの学びがあった。

令和5年度 楽器奏者 PANMAN 研修記録 ジャンベ・アサラトなど

日付	学年	内容	成果・反省
4月27日	年中	○自由に叩く ○リズムクイズ	・年中になって初めてのジャンベの活動を楽しむことができた。
	年長	○自由に叩く ○リズムクイズ パンマンさんの叩いたリズムを繰り返す	・年長になって初のジャンベの活動でより難易度の高いリズムを叩く機会となった。
5月18日	年少	○ジャンベに触れ、自由に叩く	・初めてジャンベに触れ、音を楽しんでいた。
5月19日	年中	○自由に叩く ○リズムクイズ パンマンさんの叩いたリズムを繰り返す	・ジャンベとの触れ合いを楽しみながら活動していた。
	年長	○自由に叩く ○高さの違う音の叩き比べ	・音の高さの違いに触れられるような場面を普段の保育にも取り入れていきたい。
6月14日	年少	○自由に叩く	・両手を自由に使い音を出すことを楽しんでいた。
	年中	○カリンバの演奏を聴く ○アフリカのリズム（2拍と3拍）	・初めて見る楽器に興味を示す姿が多くあったため、日々の保育の中でも様々な楽器に触れる機会を作りたい。
6月15日	年長	○カリンバの演奏を聴く ○アフリカのリズム（2拍と3拍）	・普段聞きなじみのないリズムへの興味関心が高く、様々な国のリズムに触れられるような機会を作りたい。
7月10日	年長	○自由に叩く ○パンマンさんの真似をしよう	・パンマンさんの真似を通して様々なリズムが子どもたちに身についていると感じる。
7月11日	年少	○自由に叩く	・両手を自由に使い音を出すことを楽しんでいた。
	年中	○自由に叩く ○パンマンさんの真似をしよう	・心を開放してジャンベを叩いている姿があった。
9月12日	年少	○夏休みのお話 ○自由に叩く	・久しぶりのパンマンさんとの再会を喜ぶ姿があった。自由に音の強弱を出せるようになっている。
	年中	○夏休みのおはなし ○自由に叩く ○パンマンさんの真似をしよう	・パンマンさんの動きをよく見ながら真似して叩くことを楽しんでいた。
9月13日	年長	○夏休みのおはなし ○ジャンベのリズムやってみよう	・少し難しいリズムではあったが、楽しみながら味わうことができた。
10月19日	年長	○自由に叩く ○気持ちをそろえて叩く ○椅子取りゲーム	・ジャンベの音を利用したゲームで、音とともに楽しむことができた。
10月20日	年少	○自由に叩く	・音の出方の違いを楽しめるようになってきている。
	年中	○自由に叩く ○パンマンさんの真似をしよう	・自由に叩く活動では、長い時間じっくりと叩くことができていた。
11月7日	年少	○自由に叩く	・小さい、大きい音を叩き分けできるようになっている。
	年長	○自由に叩く ○新しいリズム叩いてみよう	・新しいリズムを楽しみながら知ることができた。
11月8日	年中	○アサラト演奏を聴く ○パンマンさんの真似をしよう	・久しぶりのアサラトをととても喜んでいった。

12月4日	年少	○自由に叩く	・動きを真似しながらリズムを楽しむようになった。
	年長1	○一つのリズムを叩き続けよう ・パンマンさんのメロディと合わせ、セッションを楽しむ	・簡単なリズムでも、セッションを楽しむことができ、より気持ちをそろえて演奏できた。
12月5日	年中	○自由に叩く ○パンマンさんの真似をしよう	・リズムや音の高さの違いを楽しんで活動することができた。
	年長2	○終わりの合図を知る	・セッションをしている時の終わりの合図を知り、みんなで叩ききる達成感を味わった。
1月29日	年少	○自由に叩く	・動きを真似しながら叩くことや、一人ずつ順番に音を出すゲームを楽しめるようになった。
	年長	○自由に叩く ○四拍子三拍子	・四拍子に合わせて叩くときは右左右左と順番になるが、三拍子の時は右左右、左右左と手が交互になることに気づきながらリズム打ちを楽しむことができた。
1月30日	年中	○自由に叩く ○冬休みの思い出話	・長い時間自由に叩くことを楽しみ、友だちと演奏することを楽しむことができた。
2月15日	年少	○自由に叩く	・同じ動きを真似し、自由に叩いてリズムをのびのびと楽しんだ。また、ジャンベは素材の木の種類によって違うことや、表面はヤギの皮でできていることなどを教えてもらった。
2月16日	年中	○自由に叩く ○パンマンさんの真似をしよう	・パンマンさんの音や動きを楽しみながら真似し、音の高さの違いなどに気が付くことができた。
	年長	○自由に叩く ○いすとりゲーム	・好きなように叩く中で、音が揃いパンマンさんとセッションを楽しみ、気持ちを一つに演奏ができた。
3月6日	年中	○自由に叩く ○パンマンさんの真似 ○アサラト演奏の鑑賞 ○椅子取りゲーム	・一年間を通して、自由にじっくりと叩くことを楽しむことができるようになった。 ・アサラトの鑑賞では、歓声を上げながらパンマンさんのパフォーマンスを楽しんでいた。 ・初めての椅子取りゲームに喜びとても盛り上がっていた。椅子に座れなかった子も、残った友だちを一生懸命応援している姿があった。
3月7日	年少	○自由に叩く ○パンマンさんと同じ動きで音を出す。 ○アサラト演奏鑑賞	・最後の活動日であった。初めころはパンマンさんの話や、動きに関係なく音を出している子が多かったが、この日は動きや指示をよく見て音を出し、全員の音が合うようになっていた。年中でも活動できることを楽しみにし、活動を終えた。
	年長	○自由に叩く ○パンマンさんの真似 ○アサラト演奏の鑑賞 ○椅子取りゲーム	パンマンさんとのジャンベの活動を通して気持ちをそろえて音を出すことを楽しむことができた。ゴーストノートという奏法を知り、リズムよく叩こうとする姿が見られた。最後ということで、アサラト演奏や椅子取りゲームなど子どもたちの意見を取り入れてくださり、子どもたちも満足した様子が見られた。

